

# サッカー競技大会要項

1. 参加資格  
夏季大会 中体連加盟校であること。  
新人大会 中体連加盟校の1,2年生であること。
2. 参加制限  
(1) 選手20名、監督1名、引率者1名、コーチ1名、マネージャー1名の計24名以内とする。  
※ただし、3年生に関しては登録外でもベンチ入りできるものとする。その際必ず登録選手と区別できるようにする。(夏季大会)  
(2) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長が認めた者で、地区・県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。  
複数合同チームの役員は、監督(両校のうち1名)、コーチ(両校から各1名)、マネージャー(両校から各1名)の合計5名とする。帯同審判制を用いる(2名)  
(3) 本大会に出場するチーム、選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。尚、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
3. 競技方法  
(1) 原則として4チーム以上はトーナメント戦、3チームの場合はリーグ戦とする。  
※ 中体連主催直近大会の結果を採用したシード制を用いる。  
(2) 試合時間は60分(30分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは原則として10分間とする。  
※トーナメント戦の決勝戦において勝敗の決定しない場合は10分間(5分ハーフ)延長し、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。その他はPK方式で勝敗を決定する。  
※リーグ戦において、勝率が同じ場合は下記の通りとする。  
①勝ち点制を導入する。(勝ち:3) (引き分け:1) ②得失点 ③総得点  
上記の①②③で、順位が決しない場合は専門部で協議する。  
(3) 原則として飲水タイムを設ける。(クーリング・ブレイクを設ける場合もある)  
(4) テクニカルエリアを設け、監督・コーチいずれかの一人がその範囲内で指示することができる。
4. 競技規則  
(1) (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」並びに本大会申し合わせ事項に準ずる。  
(2) 本大会期間中、警告を2回(累積)受けた選手は次の1試合に出場することができない。  
(3) 本大会で退場処分を受けた選手は、次の1試合は自動的に出場停止とし、それ以後の処置については、大会規律委員会の裁定に従う。  
※大会規律委員会は、担当主審、地区サッカー専門部とする。  
(4) 選手交代に関しては、競技開始前に登録された20名以内での交代回数は制限なしとし、1度退いた選手に関しても再出場ができる。交代の手続きは、従来通りサッカー競技規則第3条に則して行なう。

5. 試合球及びユニフォーム (1) ミカサ製検定5号球とする。  
(2) ユニフォームは、正副(異色)を用意し、正副とも胸・背番号・(1~20)をつけるとともに、番号は、参加申込書と同じ1~20の通し番号とする。  
(Bチームは、監督会議において確認があれば、ナンバーリングの使用も許可する。)  
※登録されたキーパーが負傷などにより出場できない場合のみ、代わりの選手が登録された番号以外でも出場を認める。
6. 登 録 各校2チーム以内(選手:20名以下)
7. 申込期日 夏季大会 令和3年 5月12日(水)午後5時必着のこと。  
新人大会 令和3年 12月 1日(水)午後5時必着のこと。
8. 申 込 先 石垣第二中学校 南 慎太郎
9. 表 彰 優勝チームへ(優勝旗・賞状)  
個人賞 優秀選手賞(優勝チーム)・敢闘賞(2位チーム)・ベストGK・得点王
- 10、複数合同 (1) 複数合同チームの編成基準に関しては、中体連会報に準ずる。  
(2) 複数合同チームの編成については、複数合同チーム申請書(様式1・2及び名簿)を作成し大会申し込み前(指定日)までに地区中体連事務局に提出する。  
(3) 選手以外のベンチ入りについては、監督(両校のうちどちらか1名)、コーチ(両校から各1名)マネージャー(両校から各1名)、合計5名までとする。マネージャーは生徒とする。
- 10.その他 (1) 優勝、第二位のチームは県中体連夏季総合大会への出場資格を与える。(夏季大会)  
(2) 登録選手変更については、大会初日の監督会議まで認める。(但し、3名まで)追加は認めない。